

平成 22 年度 「知る・学ぶ・伝える equality」 事業報告

男女共同参画推進室では、平成 22 年度より「知る・学ぶ・伝える equality」事業を開始した。これは、地域貢献事業の一環として実施するもので、「多様な個性を尊重する」ことを身近な問題として捉え学ぶことを目的として、男女共同参画に関わる様々な問題を、講座や講演会を通して提供してきた。性別等による差別をなくし、多様な個性を尊重し、それぞれの生き方を認め合う社会や生活作りのヒントを、参加者と共に考えていくというもので、以下は 5 回にわたって行われたこの事業の報告である。

目的（概要）

多様な個性を尊重することの大切さを身近に感じていただくために、関連する様々な話題を講座や講演会を通して提供する。参加者に、初めて知ったこと（“知る” equality）、関連する問題や背景など学んだこと（“学ぶ” equality）、そして、一人一人が大切にされる社会を作っていくために毎日の生活の中でできること（“伝える” equality）を持ち帰っていただくことを目指す。

実施担当者

富崎松代、春本晃江（奈良女子大学男女共同参画推進室）

西川桜子氏（働く女性支援アドバイザー（奈良県女性センター）、非常勤講師（桃山学院大学））

協力：奈良県女性センター、奈良女子大学女性研究者共助支援事業本部

活動内容

本学は、基本理念の第一に「男女共同参画社会をリードする人材の育成—女性の能力発現をはかり情報発信する大学へ—」を定め、教育・研究・運営等のあらゆる場面で、ハード・ソフトの両面からの環境整備を進めてきた。これらの環境整備事業を今後も推進する一方で、地域貢献事業を通して学内外の男女共同参画を推進するために、平成 22 年度より本事業を開始した。この事業では、性別等による差別をなくし、多様な個性を尊重し、それぞれの生き方を認め合う社会や生活作りのヒントを見つけていただくことを目指して、関連する様々な話題を講座や講演会を通して提供する。参加者に、講座等で初めて目にしたこと・耳にしたことや印象に残ったこと

（“知る” equality）、関連する問題や背景について学んだこと

（“学ぶ” equality）、そして、一人一人が大切にされる社会

を作っていくために毎日の生活の中でできること（“伝える” equality）を持ち帰っていただくことを目的としている。

本年度は、日本国憲法に「男女平等」が書かれた経緯を知ることから始めて、日本国憲法で女性の権利を認めたことにより家庭における男女の役割はどのように変化したのか、アジアの女性、世界の女性はどうのような環境の中にいるのか等について学ぶこととし、9 月から 1 月まで、毎月 1 回土曜日



事業案内のチラシ

の午後に、講座を開講した。第1回と第5回の講座は本学で開催し、第2回～第4回の講座は奈良県女性センターで開催した。奈良県女性センターからは講座室とビデオ教材を提供して頂いた。また、奈良女子大学女性研究者共助支援事業本部の協力により、当日受付も含めて無料託児を実施し、子育て中の方々も参加しやすい対策をとった。

8月上旬、事業案内のポスター・チラシを奈良市内の図書館や公民館に配布し、本年度から新たに開始する本事業の周知をはかった。第3回～第5回の講座は、アジア、ヨーロッパ、アメリカにおける女性の生き方等に関する話題を扱うことから、留学の希望を持っている学生や海外からの留学生にも聞いてほしい内容であると思い、10月に再度案内のチラシ（日本語版、英語版）を作成し図書館や公民館に配布した。1月には、最終回の講座を案内するチラシを図書館や公民館に配布するだけでなく、タウン情報誌にも講座案内を掲載し、集客に向けての努力を続けた。

5回の講座解説およびファシリテーションを西川桜子氏にお願いした。西川氏には、毎回、豊富な講座資料を準備していただいた（以下で第1回と第2回の講座資料の目次を紹介する）。それにもとづいて、参加者が講座で取り上げた話題に関連して意見を述べるという当初目指していた講座のスタイルを展開することができた。毎回の講座では、参加者に（名刺サイズの）“おみやげカード”に、この講座で学んで持ち帰りたいものを記入して頂き、それらを、講座の感想なども含めて、自由に分かち合ってもらった。以下、各講座の内容を紹介する。

第1回 9月18日 13:30～15:30

「私は男女平等を日本国憲法に書いた」 (本学附属図書館で開催)

この講座では、DVD「私は男女平等を憲法に書いた」（ドキュメンタリー工房 72分）を基に、日本国憲法に「男女平等」が書かれた経緯と、条文を書いたアメリカ人女性ベアテ・シロタ・ゴードンさんの生き方等から見えてくる「男女平等」について学んだ。現在の日本では「男女平等は当たり前」と考えられているが、明治憲法下では、女性は「責任無能力者」とされており、一人前の人間としての権利を奪われていた。1946年当時、22歳でGHQ民生局のメンバーであったベアテさんは、新憲法の人権（社会保障と女性の権利）条項の草案作成という大役を任された。5才から15才まで東京で育ち、戦前の日本女性の哀しい立場を知っていた彼女は、世界各国の憲法を参考にして膨大な草案を書き、その草案は第14条「法の下での平等」や第24条「両性の平等の原則」などに生かされている。DVDの視聴後には、男女平等条項（第24条）が戦後の日本人女性の地位向上にもたらした影響や、家族制度の復活を目指して男女平等条項を改正しようとする動き、そしてそれを阻止しようとする運動についての説明があった。最後に、この講座の中で感じたことや印象に残ったこと（“知る” equality）、学んだこと（“学ぶ” equality）、一人ひとりが大切にされる社会を作っていくために毎日の生活の中で自分ができること（“伝える” equality）について、参加者一人ひとりに自由にお話して頂いた。



アンケート結果より（一部を紹介）：「DVDを見る、解説を聞く、皆で話す、という形の講座の中で、感じたことや考えを整理することができ、大変よかった。」「当時 22 歳のベアテさんの行動力に驚いた。また、みなさんの意見をきけてよかった。」「これまで女性の権利について深く考えたことがなかったが、本日の講座を通してよく考えてみようというきっかけとなりました。人と人とのつながりや和についても考えさせられる講座でした。」「憲法 24 条には男女平等がうたわれているという事実のみを知っているだけでした。そこにいたる過程を学ぶことができ、大変勉強になりました。」

第 1 回講座資料の目次

明治民法下での女性の地位

【個人・家族が国家にねらわれるとき（岩波ブックレット No. 653） by 憲法 24 条を活かす会（編）岩波書店（2005）】（1）

新しい「日本国憲法」の誕生

【写真とイラストで学ぶ ジェンダーからみた日本女性の歴史 by ねりま24条の会（編）明石書店（2005）】（2）

ベアテ草案

【憲法に男女平等起草秘話（岩波ブックレット No. 400） by 土井たか子&ベアテ・シロタ・ゴードン岩波書店（1996）】（3）

日本国憲法（抜粋）

【個人・家族が国家にねらわれるとき（岩波ブックレットNo. 653） by 憲法24条を活かす会（編）岩波書店（2005）】（4）

関連年表

【個人・家族が国家にねらわれるとき（岩波ブックレットNo. 653） by 憲法24条を活かす会（編）岩波書店（2005）】（5）

家族制度復活を阻止した女性たち

【個人・家族が国家にねらわれるとき（岩波ブックレット No. 653） by 憲法24条を活かす会（編）岩波書店（2005）】（6）

自民党憲法調査会憲法改正プロジェクトチーム「論点整理（案）」（2004年6月10日）抄録

【みんなの憲法24条 by 福島みずほ（編）明石書店（2005）】（7）

男女平等を憲法から消すな！ 憲法24条の改悪を許さない共同アピール

【個人・家族が国家にねらわれるとき（岩波ブックレットNo. 653） by 憲法24条を活かす会（編）岩波書店（2005）】（8）

家族単位の原理的問題

【はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 大月書店（2004）】（9）

“STOP! 24条改悪キャンペーン キックオフ集会によせて” ベアテ・シロタ・ゴードンさんからのメッセージ

【<http://home.cilas.net/yunami/9jo/24jo.html>】（10）

ベアテ・シロタ・ゴードン関連年譜

【1945年のクリスマス 日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝 by ベアテ・シロタ・ゴードン 柏書房（1995）】（11-12）

ベアテ・シロタ・ゴードンさんの著作リスト

（13）

第2回 10月16日 13:30~15:30

「現代家族考」

(奈良県女性センターで開催)



この講座では、ビデオ「現代家族考」(東京女性財団 34分)を基に、日本の家庭や社会に存在する性別役割分業について学び、それらが私達の生活にもたらす影響について考えた。はじめに、ジェンダー(社会的・文化的につくられた性のあり方や性役割)についての解説があり、ジェンダーについての理解を深めるためのワークシートや資料(自分の『男性度・女性度』を調べる、人を2つに分けるということを考える、あって良い違い・必要のない違い、日常語でたどる女の一生・男の一生など)が紹介された。ビデオ「現代家族考」は、これから結婚しようとする若い男女、中年夫妻、熟年夫妻の3世代が登場するホームドラマで、夫と妻の間での家事・育児・介護分担、結婚・出産後の女性の就労、男の子・女の子の育て方、夫と妻の呼び方などのテーマが取り上げられている。ビデオを視聴しながら、これらのテーマを自分自身や周囲の人々に照らし合わせ、参加者の間で“男女平等”に関する活発な意見交換が行われた。最後に、「誰もが“ありのままの自分”を生きられる社会をつくっていくために、自分ができること」を参加者に“おみやげカード”に書いて頂き、講座の感想なども含めてこの講座で得たものを自由に分かち合ってもらった。

アンケート結果より(一部を紹介):「(ビデオが作成された)10年以上前と違いがあること、10年以上前から変わらないこと等、意見交換・情報交換を通して分かることがある。皆で意見交換・情報交換をすることにより、最近の家族のあり方が見えてくる。講座の構成がよくできていたと思う。」「男女の役割について固定的な考え方を知らず知らず植えつけられている事に気がつかされて、人や物事に対する考えを少しずつでも子どもに伝えられたら良いと思いました。」

第2回講座資料の目次

日本国憲法 第14条と24条【憲法に男女平等起草秘話 (岩波ブックレット No. 400) by 土井たか子 & ベアテ・シロタ・ゴードン 岩波書店 (1996)】 (1)

男女区分は絶対的か? ~自分の『男性度・女性度』を調べる~【はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 大月書店 (2004)】 (2)

いろんな人 ~2つに分けるということを考える~【はじめて学ぶジェンダー論】 (3)

ジェンダーってなに?【はじめて学ぶジェンダー論 & 続・はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 大月書店 (2006)】 (4)

ジェンダーのとらわれとは?【<http://npo-sean.org/t-gender/>】 (5)

あって良い違い? 必要のない違い?【続・はじめて学ぶジェンダー論】 (6-7)

日常語?でたどる 女の一生 男の一生【ちょっと待って、その「ことば」—「ことば」に見る女性 by 東京女性財団 (編・著) クレヨンハウス (1998)】 (8-14)

ビデオ「現代家族考」逐語録【男女平等学習用ビデオ「現代家族考」by 東京女性財団】 (15-29)

ハチドリの一としくーいま、私にできること【ハチドリの一としくーいま、私にできること by 辻信一 光文社 (2005)】 (30)

第3回 11月13日 13:30~15:30

「世界の女性の『幸せ』の条件 5分間ビデオから学ぶ アジアの女性」

(奈良県女性センターで開催)



第3回と4回の講座で使用したビデオ「5分間で見る世界の女性」シリーズ(大阪府生活文化部女性政策課 & シネマトリックス)は、21ヶ国の女性プロデューサーが、北京で開催された第4回世界女性会議に向けて、「開発・平等・平和」をテーマにした各国の女性問題をそれぞれ5分間で描いたものである。この講座では、「5分間で見る世界の女性—アジア編」を基に、インドでの女性差別、カンボジアでの地雷被害、台湾の性産業における搾取、中国(上海・香港)人女性の仕事と家庭の両立方法について学んだ。更に、それらのことを「外国の問題」としてではなく、“私達に関係のある身近な問題”として捉えて頂けるように、これらの題材に関する日本での状況(日本における性差別、平和維持の重要性、性の商品化や性に関する自己決定、3歳児神話・母性神話など)も紹介された。それぞれの5分間ビデオの背景説明とビデオの視聴後に、参加者が意見や感想を自由に分かち合い、「幸せに生きるためのヒント」について皆で考えた。そして“人が人間らしく生きるために欠かせないもの”である「人権」と一人ひとりの違い・個性を尊重することの大切さについても話し合った。最後に、参加者に“この講座から持ち帰りたいこと”をひとつ選んで“おみやげカード”に書いて頂いた。講座の感想等も含めて、順番にそれらを発表して頂き、この講座の幕を閉じた。

アンケート結果より(一部を紹介):「各国の問題は本当に想像を絶するくらいひどいことがたくさんあります。それらを知ることは、問題を解決する一歩につながるのではないのでしょうか。」「4つの国のビデオであったが、国に限られたことではなくどこにでも当てはまる問題だと感じた。誰にでも守るべき人権があることをあらためて認識させられた。」「普段、世界の苦しい状況について考える機会がないので、今日参加して改めて考えることができ、良かったです。」「ビデオをみてディスカッションができてよかった。社会的欲求の確立以前の問題が世界中にまだまだ起こっていることにショックを受けた。平和について自分らしく生きることを考える機会を得た。」

第3回講座資料の目次

『幸せ』ってなに?【<http://www.shiawasehp.net/koufuku/e-happy1.html> より】(1)

Part 1 インド

5分間でみる世界の女性『息子』(2)

背景説明(カースト制度、マヌ法典に見られるカースト制度における女性差別、インド社会における女性《憲法、寡婦の再婚、サティ、ダウリー、幼女殺し》)(3-7)

『差別』ってなに? 日本における『性差別』【<http://kazusense.blog18.fc2.com/blog-entry-8.html> より】(8)

Part 2 カンボジア

5分間でみる世界の女性『地雷—そこにある恐怖』(9)

背景説明(対人地雷とは? 対人地雷が生まれたいきさつ、対人地雷全面禁止条約(オタワ条約)とは? 世界に多数残されている地雷、今なお続く地雷の悲劇、カンボジア=「地雷の国」、カンボジアの地雷被害者のニーズ、カンボジアの地雷女性被害者の証言)(10-14)

マズローの欲求段階説【<http://www.studio-no9.com/sb/sb.cgi?eid=216> より】(15)

Part 3 台湾

5分間でみる世界の女性『少女ジェーン』(16-17)

背景説明（「性産業」における搾取の構図、台湾の廃娼論争、売春合法化の検討「援助交際の増加を防ぐ」、日本の外務省の海外安全ホームページ）(18-23)

日本における「性の商品化」について考えてみましょう【ジェンダーと人権ワークブック by アジア資料センター より】(24)

性と自己決定【ジェンダーと人権ワークブック by アジア資料センター より】(25)

Part 4 中国

5分間でみる世界の女性『香港の女性から見た中国の女性』(26-27)

背景説明（中国と香港の違い、中国（上海）の女性《女性の地位・社会進出、女性の就業意識・意欲、仕事と家庭の両立、育児・家事の担い手》、香港の女性《香港の女性の社会進出、外国人女性のホームヘルパー》）(28-33)

日本における子育て（母性神話と三歳児神話）【<http://www5a.biglobe.ne.jp/~with3/> より】(34-36)

人権【多様性トレーニングガイド & エンパワメントと人権 by 森田ゆり より】(37)

ハチドリの一ひとしづくー今私にできること【ハチドリの一ひとしづくーいま私にできること 光文社（2005）より】(38)

『幸福』とは・・・？ 【<http://meigen.shiawasehp.net/koufuku.html> より】(39)

第4回 12月11日 13:30～15:30

「世界の女性の『幸せ』の条件 5分間ビデオから学ぶ
ヨーロッパ・アメリカの女性」
(奈良県女性センターで開催)



この講座では、ビデオ「5分間で見る世界の女性—ヨーロッパ編 & 北米・南米編」を基に、チェルノブイリ（ウクライナ）の原発事故の余波、スコットランドの貧困地域の状況、アメリカの人種差別、キューバの老人福祉医療について学んだ。女性の視点に焦点を当て、更に、参加者にこれらの題材を身近なものとして理解して頂けるように、日本での状況（日本の“原発奴隷・原発ジプシー”、女性の貧困、偏見・差別のメカニズム、高齢者差別など）も紹介された。そして、それぞれの5分間ビデオの背景説明とビデオの視聴後に、参加者が意見や感想を自由に分かち合い、「幸せに生きるためのヒント」について皆で考えた。配布資料には、マイノリティー（力関係において弱い立場・支配される側に置かれている人々）、エンパワメント（弱い立場に置かれ抑圧されてきた人々が、内在する能力、行動力、自己決定力を取り戻すこと）、人間の多様性、自尊感情などについての解説も含まれており、全ての人の人権が尊重される社会をつかっていくために、自分にできることをコツコツと続けていくことの重要性についても話合われた。最後に、前回の講座と同様に“この講座から持ち帰りたいこと”を書いて完成させる“おみやげカード作り”も行われた。

アンケート結果より（一部を紹介）：「4カ国それぞれの国のかかえる問題を通して幸せについて考えることができるとても良かったです。人が生きるというときの本当の豊かさ、またそれを生み出す環境の大切さを感じました。」「5分間ビデオに関連して豊富な資料が準備されており、知らないことが次々に現れ、常に視野を広く持つこと、誰から発信された情報であるかを問い直すことが重要であると感じた。自分に何が出来るかということに改めて考えさせられた。」「日々の生活に追われる中で自分の世界が徐々に小さくなってきていたことに本日気づかせて頂きました。今日新しく知ることが出来たことがとても多く、自分の世界を広げるためにも講座に参加させて頂きよかったです。」

第4回講座資料の目次

『幸福』とは・・・？【http://www.counselingservice.jp/column/2010/08/post_640.html、<http://meigen.shiawasehp.net>、より】(1)

人の値打ち【奈良市民だより 平成22年7月号 より】(2)

Part 1 ウクライナ

5分間でみる世界の女性『チェルノブイリの余波』(3)

背景説明(原子力発電、チェルノブイリの原発事故)(4-6)

女性たちの叫び【チェルノブイリは女たちを変えた by マリーナ・ガム・パロフ より】(7-8)

チェルノブイリの子ども達の叫び【生きていたい！チェルノブイリの子どもたちの叫び by チェルノブイリ子ども基金(編) より】(9)

原発反対！の科学者達【チェルノブイリは女たちを変えた by マリーナ・ガムパロフ より】(10)

我が国の原子力発電所立地地点【<http://www.nsc.go.jp/anken/sonota/topics/data/20081010/05.pdf> より】(11)

原子力発電所における秘密—日本の原発奴隷【<http://www.jca.apc.org/mihama/rosai/elmundo030608.htm> より】(12)

お勧め図書(14)

Part 2 スコットランド

5分間でみる世界の女性『銃弾のない戦争』(15-16)

背景説明(スコットランドとイギリスの関係、グラスゴー、グラスゴーの貧困地域、貧困から生じる問題、貧困の原因、イギリスの階級制度、イギリスの貧困観の移り変わり、イギリスにおける”スティグマ”の役割)(17-21)

私達の声が聞こえますか？～世界の貧しい人々の声～【私たちの声が聞こえますか？ 貧しい人々の声 by ディーバ・ナラヤン より】(22)

日本の女性の貧困【女達の21世紀 特集—女性の貧困 No. 57 by アジア女性資料センター より】(23)

女性の貧困—『自己責任』？【<http://rihabirikoara.jugem.jp/?eid=1552> より】(24)

なぜ子どもの貧困が問題か？【奈良弁護士会主催 シンポジウム『考えよう子どもの貧困』(2010) より】(25)

Part 3 アメリカ合衆国

5分間でみる世界の女性『ある黒人女性の場合』(26-27)

背景説明(人種差別、「黒人奴隷」の歴史、黒人差別、黒人公民権運動)(28-33)

アメリカ南部の黒人女性—女性軽視と女性に必要なもの【アメリカ黒人演説集 by 荒このみ(編・訳) より】(34)

キング牧師の言葉【キング牧師の言葉 by コレッタ・スコット・キング(編) より】(35)

『偏見』ってなに？ 『差別』ってなに？ 『差別』の段階【偏見の心理 by G. W. オールポート、人権学習を創る—偏見と差別の社会心理学 by 中川喜代子、みんなの人権—人権学習のためのテキスト by オーストラリア人権委員会 より】(37)

マイノリティーとは・・・【続・はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 より】(38)

エンパワメントとは・・・【はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 より】(39)

Part 4 キューバ

5分間でみる世界の女性『冬に咲く』(40-41)

背景説明(キューバ革命、平等主義社会、女性解放、長寿大国、世界が注目する医療、ユニークな高齢者福祉)(42-47)

チェ・ゲバラの演説【世界がキューバ医療を手本にするわけ by 吉田太郎 より】(48)

エイジズム(高齢者差別)と女性【女達の21世紀 特集—エイジングなんてこわくない？

No. 59(2009年) by アジア女性資料センター より】(49)

年輪を重ねる & グリム童話『木のお皿』(50)

『私』をもっとよく見て！【変装 私は3年間老人だった by パット・ムーアより】(51)

手紙 ～親愛なる子どもたちへ～ 【原作詞：不詳、訳詞：角智織、補足詞：樋口了一 作曲：樋口了一、ストリングス・アレンジ：本田優一郎 より】(52)

人権【多様性トレーニングガイド & エンパワメントと人権 by 森田ゆり より】(53)

多様性とは・・・【はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 より】(54)

人権を脅かすもの【<http://kazusense.blog18.fc2.com/blog-entry-5.htm> より】(55)

ハチドリのひとつしづく—今私にできること【ハチドリのひとつしづく—いま私にできること 光文社(2005)より】(56)

『幸せ』になりたい【あしたをきらり～今日を生きるヒント～ & わたしの絵日記

by 奈良県くらし創造部人権施策課 より】(57)

第5回 1月22日 13:30～15:30

『『幸せ』の条件 韓国・ベトナム・中国人留学生が日本語で語る！ 日本の女性に伝えたい わたしが尊敬する祖国の女性』

(本学附属図書館で開催)

最終回の講座では、本学の留学生3名(チェ ユンギョンさん、ド ティ ミンフォンさん、キン ユウランさん)に、彼女達が尊敬する祖国の女性と「幸せ」についての様々な感じ方や価値観を紹介して頂いた(当日の話の概要を、事前に留学生自身にまとめて頂いた。下の枠内を参照)。そして、彼女達の話をお聞きながら「幸せに生きるためのヒント」について、参加者に考えて頂いた。「世の中で一番美しい足」(韓国の著名なバレリーナについて)、「苦労の中に幸せを探していこう」(ベトナムの日本人材協力センターの交流部長について)、「母から学んだ仕事と家庭のバランス」(実母について)と題されたプレゼンテーションの中で、比較の対象は他人ではなく(昨日までの)自分自身であること、「やればできる」と信じて努力し続けること、今あるものに感謝して今日を精一杯生きること、自分を好きになることで他人のことも尊重できるようになること、家庭と仕事をどちらも大切にすること、などの重要性が述べられた。それぞれのプレゼンテーションの後には、「人生の意味」に対する感じ方や韓国・ベトナム・中国の歴史・文化・慣習等に関する質疑応答が行われた。最後に、恒例の“おみやげカード作り”をしながら、今回の講座の感想や「幸せ」について発見したことを、参加者全員にお話して頂いた。講座解説者が、誰もが安心して、自由に、自信をもって“ありのままの自分”を生きられる社会をつくっていくことの必要性を強調し、5回連続講座の幕を閉じた。



「世の中で一番美しい足」(バレエリナ カンスジン)

by 崔允敬(チェ ユンギョン)さん(韓国)

私の偶像であるカンスジンは韓国のバレエリナで、アジア最初にドイツのシュトルガルトバレエ団に入団し、1999年舞踊系のアカデミー賞と呼ばれる Benois de la danse の最高女性ダンサーに選定され、今までも活躍しているダンサーである。高校時代に私はある雑誌に載せられた彼女の足を見たことがあるが、綺麗な彼女の顔とは違って、怪物の足のようなとても見苦しく変形している足を持っていた。その足は彼女が世界一になるまでどれほど頑張って練習してきたのかを見せてくれる彼女の熱情の証拠だと思う。

「苦勞の中に幸せを探して行こう！」

by Do THi Minh Phuong (ド ティ ミンフォン) “メイ” さん (ベトナム)

* 以下の「彼女」とは、ベトナム・日本人材協力センター (VJCC) 交流部部長で、日本のお祭り、そしてハノイ滞在の日本人との交流を担当されている女性のことです。

彼女は若いときに、花を売る仕事から、日本語の翻訳まで体験しました。それに、出身地のハノイだけではなく、ベトナムの領土の長さに沿って、色々な仕事をやってきました。大変でしたが、出会ってから、今まで、彼女から苦情などと言うのが一度も、私は聞いたことがないです。以前いつも消極的に考えている私は、頑張りながら人生を楽しんでいる彼女の姿を見て、「生まれて幸せだ。生きて良かった」と思うようになりました。

「母から学んだ仕事と家庭のバランス」 by 金幽蘭 (キン ユウラン) さん (中国)

農村出身の出稼ぎ労働者から都市部の小学校校長まで。家族の世話のため、自らの要求で副校長への降職。39歳から再び勉強を始め、家事・学習を両立しつつ、2年後中国文学の学位を獲得した。50歳の現在でも、「中学校高級教師」という肩書きを目指して、論文の作成・発表に精一杯取り組んでいる。

アンケート結果より (一部を紹介) :「ふだんは聞けないお話がきけてよかったです。とても貴重な体験になりました。ありがとうございました。」「いろんな国の人のお話を聞くことができ、とても楽しくてよかったですと思いました。今日の講座を通じて自分にとっての「幸せ」についてあらためて考える機会になりました。また、このような講座があったらぜひ参加したいと思います。」「プレゼンの作り方のうまさや幸せの価値観の見つけ方を私なりに発見出来る時間でした。パソコンを作成して視覚に反映し分かりやすかったです。みんな違ってみんないい!」「3人の留学生のいずれもしっかりした自己をもち表現力が豊かで感動した。幸せについてまじめに考えていることがすばらしいと思った。」「三人、三か国、三様の幸せの形があって、大変勉強になりました。皆さん一生懸命生きているのが伝わってきて、私自身励まされました。ありがとうございました。ベトナムのメイさん、日本の若者を助けて下さい。頭の下がる思いです。」「3国の留学生の方のお話に、それぞれ聞きごたえのある幸せをみつける話があって、とても充実した時間を過ごさせてもらったと思います。」「異なった文化から来られた留学生の方々のお話を同時に聞くことによって比較することができ興味深かったです。ディスカッションを取り入れると様々な意見が出てきて面白いかもしれません。ありがとうございました!」「三人の留学生によって語られる内容をもとに講座が展開されました。参加者の異なる意見を聞くことができ、様々な考え方も受け入れる大切さを知りました。」「三人の方の意見を聞いて自分を見つめることが出来る点。アジアの留学生の考えは今後大事になってくると思いますので、こういった機会をもってほしい。」「留学生の話、異文化のことを聞くのは本当に刺激になりました。聞くだけでなく、小グループになって、ディスカッションしたかったです。」

第5回講座資料の目次

Part 1 幸せに生きるためのヒント エッセイ集

夢を持って生きる【<http://www.shiawasehp.net/koufuku/e-happy26.html> より】(2)

幸福はたくさんある【<http://www.shiawasehp.net/koufuku/takusanaru.htm> より】(3)

『成功』ってなんだろう？【夢をかなえる本 by パット・パルマーより】(4)

自分を好きになる【<http://yuiyui38.blog14.fc2.com/?mode=m&no=139> より】(5)

自分の輝きをとり戻す【エンパワメントと人権 by 森田ゆり より】(6)

人の幸せを考える【<http://www.shiawasehp.net/koufuku/hitonokoto.html> より】(7)

Part 2 幸せに生きられる社会をつくろう！

『違う』ということ【星言葉 by 晴佐久昌英 女子パウロ会 より】(9)

日本社会と多様性【違いのとびらー多様性と受容 & ぶつかる力 ひきあう力 by 大阪府政策企画人権室 より】(10)

『多様性』とは・・・【はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 より】(11)

私の価値観と差別【大阪人権博物館の配布資料 より】(12-13)

差別を測るモノサシ【同じをこえて 差別と平等 by 大阪府府民文化部人権室 より】(14)

『マイノリティ』とは・・・【続・はじめて学ぶジェンダー論 by 伊田広行 より】(15)

人権【知っていますか？ 人権教育一問一答 by 森 実、世界人権宣言の実現にむけて 日本の人権課題から by 部落開放・人権研究所(編)】(16)

『安心』『自信』『自由』の権利【エンパワメントと人権 by 森田ゆり より】(17)

人権を脅かすもの【<http://kazusense.blog18.fc2.com/blog-entry-5.htm> より】(18)

人権に関する世論調査【人権の擁護（平成21年度版 by 法務省人権擁護局 より】(19)

日本における女性の権利【女性の権利 by 人権教育啓発推進センター、女性差別撤廃条約と選定議定書 by 米田眞澄 & 堀口悦子（編著）より】(20)

暴力と平和【ぶつかる力 ひきあう力 by 大阪府政策企画部人権室 より】(21)

ユネスコ憲章【<http://www.unesco.jp/contents/about/charter.html> より】(22)

平和をつくる【平和をつくった世界の20人 by ケン・ベラー&ヘザー・チェイス 岩波ジュニア新書 より】(23)

Part 3 私たちの幸せを守る 世界と日本の決まりごと

世界人権宣言【やさしい言葉で書かれた 世界人権宣言 by 人権教育啓発推進センター より】(25-27)

女性差別撤廃条約【<http://www2.odn.ne.jp/sibuyakyodo-law/10018.pdf> より】(28)

日本国憲法【憲法って、何だろう？ by 日本弁護士連合会 より】(29-30)

男女共同参画社会基本法【女性と人権（人権ポケットブック①） by 人権教育啓発推進センターより】(31)

Part 4 最後に・・・

自分にできることがある！【同じをこえて 差別と平等 by 大阪府府民文化部人権室 より】(33)

ハチドリのひとしずくー今私にできること【ハチドリのひとしずくーいま私にできること 光文社（2005）より】(34)

成果と見通し

講座終了時には毎回アンケートを実施した。講座内容についての結果から講座開講の目的の8割程度は達成できたように思える。残り2割は、事業名にもある「伝える」部分の検証が出来ていないことである。今後は「伝える equality」にも焦点をあてて活動を実施する必要がある。アンケートでは、講座内容以外についての意見も書いて頂いた。それらを大きく分類すると次のようになる。

1. 開催して欲しい講座の内容：「子どもを育てながら、どうキャリアを築いていくか、学べるセミナー」「いろいろな価値観とふれあえる奈良女子大学ならではの企画」「女性の働き方、政治についてなど」「女性のエンパワーメントに関する話題、何をどのように身につけるか」等
2. 広報・参加者数について：「非常に内容の濃い講座だと思います。もっとたくさんの方が参加していただければいいなと思います。」「開催の事がもっと広く知られるようになったら良いと思います。」「チラシをいただいはじめてこの講座のことを知りました。様々な場所にポスターを貼っていただけると気づきやすくていいと思います。」等
3. その他：「今後も託児つきなら出席したいです。」「託児があつて助かりました。年齢制限がある託児が多いので年齢が上がってくるとイベントへの参加が難しくなります。当日参加可でよかつ

たです。」「マイクがあったら発表者の声がよく聞き取れてもっといい講演になったと思います。」

「今日の図書館1Fグループ学習室での開催は、環境もよく、良かったです。」等

参加者から頂いた意見を参考にして、「知る・学ぶ・伝える equality」事業を推進するために、大学のもつ資源(人材を含む)をどのように活かすか、学内外の組織とどのような協力体制をつくるか等、様々な観点に立って検討し、活動内容を充実させていきたいと思う。